

GEヘルスケア×SMBCグループ 次世代ヘルスケアオープンイノベーション



社会の課題解決に貢献してきたGEヘルスケアおよびSMBCグループ、
京阪神国立三大学発ベンチャー企業による次世代の健康・医療に向けた取り組みについてご紹介

社会共創を通じた未来の医療・次世代ヘルスケアオープンイノベーション ～2025年大阪・関西万博へ向けた次世代技術の最前線～

テーマ 2025年の健康・医療に向けた大企業やスタートアップのビジネス潮流

開催日時 2021年7月14日(水) 13:30～16:40

開催方法 オンライン(定員1,000名)
※お申込みが上限数に達した時点で、参加を締め切らせていただきます。

主催者 GEヘルスケア・ジャパン(株)、SMBCグループ((株)三井住友銀行、三井住友ファイナンス&リース(株)、(株)日本総合研究所、三井住友カード(株)、SMBC日興証券(株))

共催 京都大学、大阪大学、神戸大学、神戸市

後援 (公財)神戸医療産業都市推進機構、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、
関西イノベーションイニシアティブ(代表幹事機関(公財)都市活力研究所)

※システム運営/(株)みらいワークス mirai works

お申込み方法

締切：7月13日(火)

参加申込フォームURL

<https://info.mirai-works.co.jp/hi.GEHC>



※お申込み時にご記入頂いた内容は、三井住友銀行の運営事務局にて使用させていただきます。

参加費

無料

下記利用目的をご確認の上、お申込みください。

<お客さまの情報の利用目的について>

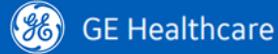
私どもは個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、お客さまの個人情報を、預金や融資業務のほか、銀行が営むことができる業務およびこれらに付随する業務において、下記利用目的で利用いたします。

金融商品やサービスの申込受付、資格等の確認、継続的なお取引における管理、融資取引やリスク商品等の適合性の判断、金融商品やサービスの研究や開発、各種ご提案、お取引の解約や事後管理、権利の行使や義務の履行、与信業務における個人情報機関の利用、委託業務の遂行等、お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため。

なお、個人情報情報機関より提供を受けた個人情報、ならびに金融分野における個人情報保護に関するガイドライン(平成16年金融庁告示第67号)に定められた機微(センシティブ)情報は銀行法施行規則等に基づき限定されている目的以外では利用いたしません。

◆お申込み時にご記入いただいた内容は、GEヘルスケア・ジャパン(株)、株式会社三井住友銀行、三井住友ファイナンス&リース株式会社、株式会社日本総合研究所、三井住友カード株式会社、SMBC日興証券(株)、京都大学、大阪大学、神戸大学、(公財)神戸医療産業都市推進機構、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、関西イノベーションイニシアティブ(代表幹事機関(公財)都市活力研究所)、(株)みらいワークスにおいて共有し、本セミナーの実施及び各種サービスに関するお知らせ、各種情報提供業務のために適切に管理し利用させていただきます。

GEヘルスケア×SMBCグループ 次世代ヘルスケアオープンイノベーション



プログラム

第一部	13:35	ご挨拶	株式会社三井住友銀行 代表取締役 副頭取執行役員 角元 敬治
	13:40	デジタル革命の先にある新しい社会とヘルスケア	慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授 宮田 裕章 氏
	14:00	医療機器開発の実際	株式会社日本医療機器開発機構(JOMDD) 代表取締役 内田 毅彦 氏
	14:20	社会共創基盤の先にあるもの	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 多田 莊一郎 同社 執行役員 アカデミック本部長 兼 エジソン・ソリューション本部長 松葉 香子
	14:40	SMBCグループの取り組み ～全ての人々が豊かな時間を過ごせる社会を実現するために～	株式会社三井住友銀行 デジタル戦略部 部長 宮内 恒 株式会社プラスメディ 代表取締役社長兼CEO 永田 幹広
15:00～15:10 休憩			
第二部	15:15	『光超音波イメージングが変える「医療」～見たことありますか？こんな画像～』	京都大学発ベンチャー企業 株式会社Luxonus 取締役 CTO 八木 隆行 氏
	15:35	「独自の電気化学免疫測定法「GLEIA」による 高性能POCTシステムの社会実装に向けて」	大阪大学発ベンチャー企業 株式会社イムノセンス 代表取締役社長 杉原 宏和 氏
	15:55	物陰を見る世界初の数理と社会実装	神戸大学発ベンチャー企業 株式会社Integral Geometry Science CSO 木村 建次郎 氏
	16:15	パネルディスカッション	慶應義塾大学 宮田 氏、株式会社日本医療機器開発機構 内田 氏、GEヘルスケア・ジャパン 多田、GEヘルスケア・ジャパン 松葉、株式会社三井住友フィナンシャルグループ 谷崎 (モデレーター:株式会社日本総合研究所 木下)
	16:35	閉会のご挨拶	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 多田 莊一郎

<司会>

三井住友銀行 関西成長戦略室 部長 宮川 潤
GEヘルスケア・ジャパン株式会社 コマーシャル統括本部
地域創生マネージャー 有田 葉子

照会先	
大学関連	
イベント全般	

〈別紙〉ご登壇者(企業)ご説明資料

株式会社三井住友銀行 代表取締役 副頭取執行役員 角元 敬治

ご紹介



神戸大学法学部卒業後、株式会社住友銀行(現 三井住友銀行)入行。2013年株式会社三井住友銀行 執行役員梅田法人営業第一部長、2014年 執行役員京都北陸法人営業本部長兼京都法人営業第一部長、2016年 常務執行役員、2018年 専務執行役員、2019年 取締役兼専務執行役員(大阪駐在)、2021年 代表取締役 兼副頭取執行役員(大阪駐在)、現在に至る。

慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授 宮田 裕章 氏

ご紹介



1978年生まれ。2003年 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻課程修了。同分野保健学博士(論文)。早稲田大学人間科学学術院助手、東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座助手を経て、2009年4月 東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座 准教授、2014年4月 同教授(2015年5月より非常勤)、2015年5月より慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 教授、2020年12月より大阪大学医学部 招へい教授。

【社会的活動】

2025年日本万国博覧会テーマ事業プロデューサー、うめきた2期アドバイザー、厚生労働省 保健医療2035策定懇談会構成員、厚生労働省 データヘルス改革推進本部アドバイザーボードメンバー、新潟県 健康情報管理監、神奈川県 Value Co-Creation Officer、国際文化会館 理事、The Commons Project 評議員 日本代表、会津若松市スーパーシティ構想アドバイザー

株式会社日本医療機器開発機構(JOMDD) 代表取締役 CEO 内田 毅彦 氏

ご紹介



内科・循環器科専門医。ハーバード公衆衛生大学院・ハーバード経営大学院修了。日本人として初めて米国食品医薬局医療機器審査官を務める。外資系医療機器メーカー勤務や米国シリコンバレーで医療機器スタートアップ複数社との協業経験も有し、医療機器開発のスペシャリスト。現在は医療製品のインキュベーターであるJOMDDの代表として、多くの医療イノベーション事業化に携わっている。厚生労働省や日本医療研究開発機構等、公的機関の審査員や班会議構成員なども多数兼務している。

〈主な委員・役職等〉

日本医療研究開発機構AMED 革新的先端研究開発支援事業インキュベータータイプ(LEAP)課題評価委員。厚生労働省 医療系ベンチャー振興推進会議構成員、他。

〈別紙〉ご登壇者(企業)ご説明資料



GEヘルスケア・ジャパン株式会社

www.gehealthcare.co.jp

【設立】

1982年4月1日

【資本金】

60億円

【従業員数】

約1,700名

【本社所在地】

〒191-8503

東京都日野市旭が丘4-7-127

〒107-6113

東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル

【拠点数】

全国約60ヶ所

【売上高】

1,224億円(2020年12月期)

【事業内容】

医用画像診断装置の開発・製造・輸出・輸入・販売・サービス、および生体情報モニタ、循環器検査機器、病院情報システム等の医療機器、ネットワークの販売保守、バイオテクノロジー関連機器・試薬・ソフトウェアの輸出、輸入、販売、サービス

【主要製品】

医用画像診断装置の開発・製造・輸出・輸入・販売・サービス、および生体情報モニタ、循環器検査機器、病院情報システム等の医療機器、ネットワークの販売保守

【加盟団体】

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)

米国医療機器・IVD工業会 (AMDD)

一般社団法人 日本医療機器産業連合会 (JFMDA)

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)

公益財団法人 日本アジア医療看護育成会 (JAMNA)

GEヘルスケア・ジャパン株式会社は、GEヘルスケアの中核拠点の1つとして1982年に創設されました。予防から診断、治療、経過観察・予後管理までをカバーする「プレジジョン・ヘルス」の実現を目指し、インテリジェント機器やデータ分析、ソフトウェア、サービス等を提供しています。

国内に研究・開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えしつつ、日本が直面する医療課題の解決に取り組んでいます。日本における社員数は約1,700名、本社および約60カ所の事業拠点があります。

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 多田 荘一郎

ご紹介



1995年、パソコンメーカーの日本ゲートウェイに入社。その後、体外診断薬大手の日本ベクトン・ディッキンソン、2008年よりGE横河メディカルシステム(現GEヘルスケア・ジャパン)に在籍、要職を歴任。2014年ボストン・サイエンティフィックジャパンの専務執行役員として、心血管・末梢血管部門と広報部門を統括。2017年GEヘルスケア・ジャパンに代表取締役社長兼CEOとして着任。限りある医療資源の有効活用と質の高い医療を維持するために、高齢化に伴い複雑化する課題の解決に取り組む。社外においても、医療連携促進やビッグデータの利活用に向け産官学の活動に参画し、政策提言に関わるなど幅広い活動に従事する。法政大学経営学部卒業、シカゴ大学経営大学院修了(MBA)、米国医療機器・IVD工業会(AMDD)副会長、公益社団法人経済同友会 幹事

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 アカデミック本部長 兼 エジソン・ソリューション本部長 松葉 香子

ご紹介



米国にて病院経営改善、大学病院CEO補佐室などの業務に従事したのち、GEヘルスケア・ジャパン(株)ヘルスケアIT事業本部にて医療IT製品企画、戦略事業開発などをリード。2015年より同事業本部GMとして画像診断ナショナルデータベース構築研究にも参画。2018年よりアカデミック本部長として大学病院および学会との協働推進。2020年7月よりエジソン・ソリューション本部長を兼務、プレジジョン・ヘルスの実現を目指す。

〈別紙〉ご登壇者(企業)ご説明資料

株式会社三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務グループCDIO 兼 株式会社三井住友銀行 専務執行役員 兼 株式会社日本総合研究所 社長 兼 最高執行役員 谷崎 勝教

ご紹介



東京大学法学部卒業後、株式会社住友銀行(現 三井住友銀行)入行。
10年株式会社三井住友銀行 執行役員、13年同 常務執行役員、15年同 取締役兼専務執行役員 兼 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 取締役、17年同 取締役兼専務執行役員兼 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 取締役 執行役専務グループ CIO、18年同取締役兼専務執行役員兼株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役執行役専務グループCIO兼グループCDIO、19年同取締役兼専務執行役員兼株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役執行役専務グループCIO兼グループCDIO 兼 株式会社日本総合研究所 社長兼最高執行役員、現在に至る。

株式会社日本総合研究所 専務執行役員 木下 輝彦

ご紹介



広島大学経済学部卒業後、株式会社住友銀行(現 三井住友銀行)を経て、株式会社日本総合研究所入社。その後、神戸大学大学院経営学研究科を修了。
主に営業・マーケティング戦略、顧客起点の企業革新に関するコンサルティングに従事。特にヘルスケア領域のグローバル競争力強化、ビジネスモデルの構築、マーケティング戦略立案等を専門分野とする。

株式会社三井住友銀行 デジタル戦略部 部長 兼 株式会社プラスメディ 取締役 兼 CEO補佐 宮内 恒

ご紹介



株式会社三井住友銀行、株式会社三井住友フィナンシャルグループ デジタル戦略部 部長 愛媛県松山市出身。三井住友銀行で、融資・営業・市場業務・IT企画・データマネジメント等を経験した後、情報銀行事業を立ち上げ。総務省から「医療データの情報銀行」にかかる実証事業を、阪大病院・日本総研と共に受託。SMBグループにおけるデジタル戦略の一端を担う。

株式会社プラスメディ 代表取締役社長 兼 CEO 永田 幹広

ご紹介



通信会社数社を経験後、ソフトバンクに入社。主にY!BB立ち上げに参画。
その後、関連企業の事業立ち上げ等を経験。NHNJapan(現LINE)経営企画室にて新規事業立ち上げ、子会社(メディアーター代表、データホテル取締役)役員を歴任。動画配信、飲食事業O2O事業等立ち上げ、その後親会社と合併。主に新規事業の立ち上げを経験。
15年前に「潰瘍性大腸炎」を発症し通院等への不満を感じ、2016年12月株式会社プラスメディを設立し、代表取締役社長兼CEOに就任。

〈別紙〉ご登壇者(企業)ご説明資料

株式会社Luxonus 取締役 CTO 八木 隆行 氏

登壇者紹介・略歴



1983年 東京工業大学大学院修士課程修了
 1983年 キヤノン株式会社入社
 2005年 同社・先端融合研究所 所長
 2008年 同社・総合R&D本部 首席担当部長
 2014年～2019年
 ImPACTプログラム・マネージャー
 (キヤノン株式会社よりJSTへ出向)
 2018年 キヤノン株式会社 退社
 2019年 現職

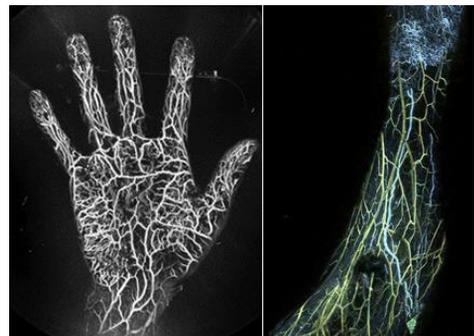
会社案内



内閣府プログラムImPACTで、キヤノン、日立、京都大学、慶應義塾大学などと共に開発した技術を元に2018年12月に設立。京都大学附属病院と慶應義塾大学病院に光超音波3D撮影装置のプロトタイプ機を設置し、乳がん、リンパ浮腫、血管障害、再建手術などの疾患を対象にこれまでに300症例以上の臨床試験を実施している。脈管異常(血管、リンパ管)が、がん、生活習慣病、慢性疾患などの主要な疾患や治療後のQOLに関与している。現在開発を進める光超音波3D撮影装置は、造影剤を使用せずまたX線被ばくもなく、安全かつ簡便に血管を3D撮影することができる。脈管異常の早期の診断、外科治療のための術前計画、投薬効果の判定が難しかった病気の検査・治療に貢献することを目指している。

特徴

2018年12月設立
 京都大学・慶應義塾大学発ベンチャー
 光超音波イメージング技術を用いて、0.2mm以下の超高解像度3D画像を撮影できる画像検査装置を開発。この新技術により、血管やリンパ管の形態や機能情報を、安全かつ簡便に得ることができるので、疾病の発症から治療プロセス、病前・病後の健康状態を総合的にとらえられることが可能。将来の医療に革新をもたらすことが期待されている。光超音波イメージング技術は、生体にパルス光を照射した際に発生する超音波をセンサで補足し、受け取ったデータをコンピュータ解析により画像化する可視化技術。



株式会社イムノセンス 代表取締役社長 杉原 宏和 氏

登壇者紹介・略歴



1985年
 大阪大学基礎工学部生物工学科卒
 2000年
 カナダMcGill(マギル)大学経営大学院修
 経営学修士
 パナソニック株式会社、東レ株式会社で、
 一貫して診断・治療用医療機器の研究開
 発、新規事業の立ち上げに携わる。

手掛けた代表的な製品として、自己測定血糖計(SMBG)、多点細胞外電位記録システム、呼気NO測定装置、がんの光線力治療器、着衣型長期心電測定システム(hitoe)等がある。

会社案内



電気化学免疫測定法「GLEIA」は、サンドイッチ免疫測定法において抗体標識に金ナノ粒子を用い、粒子中の金原子量を印刷電極と小型ポテンシostatで電気化学的に定量する。これまでの免疫検査法と比較して、簡便なシステム構成で高い検出感度を実現する同社の特許技術。この「GLEIA」を活用し、様々な現場で利用できる小型迅速簡易POCTシステムの実用化を目指している。同社のPOCTシステムは、小型・軽量モバイルで、1滴の試料(血液、唾液、鼻汁、尿など)から短時間かつ高精度の検査が可能。

手軽さと大型検査機器並みの性能を両立できるという強みを生かし、かかりつけ医や保健施設、在宅、救急救命現場などで、心筋梗塞、心不全、血栓症、感染症など様々な疾患の早期診断や経過観察に貢献できる。

特徴

2018年1月設立 大阪大学発ベンチャー
 当社独自の電気化学免疫測定法「GLEIA」により大型検査機の高感度を備えているだけでなく検査の簡便性をももたらす、まったく新しいPOCT製品の実現が可能。そして「いつでも・だれでも・どこでも医療グレードの迅速検査」を享受できる社会を目指す。



〈別紙〉ご登壇者(企業)ご説明資料

株式会社Integral Geometry Science CSO 木村 建次郎 氏

登壇者紹介・略歴



2001年
京都大学
工学部電気電子工学科卒業
2006年
京都大学大学院
工学研究科電子工学専攻
博士課程修了(工学博士)
JST先端計測分析技術・機器開発事業
産学連携研究員
2008年
神戸大学大学院
理学研究科講師
2012年
神戸大学大学院
理学研究科准教授
2018年
神戸大学
数理データサイエンスセンター教授

会社案内

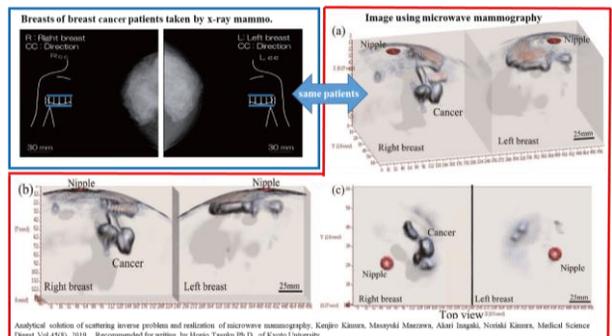
Integral Geometry Science

多重経路散乱場理論等を基礎とした、世界最高性能の計測システムの開発、製造販売。この数式は、応用数学史上の未解決問題として知られており、これを用いると散らばった波の波紋から物体の立体構造を瞬時に再構成することができ、応用分野は多岐にわたる。これまでに、インフラ検査装置、リチウムイオン2次電池の電流経路を非破壊で計測する電流経路映像化システムの販売等への導入実績がある。今後、これらの理論を応用して、現行の乳癌検査技術の課題を解決し乳癌早期発見に資する世界初のマイクロ波マンモグラフィの実用化、リアルタイムで通行人に防犯チェックを犯罪者が無意識のうちに実施可能なスーパーセキュリティゲートの実用化、これらの技術を応用したコロナウイルス撃滅システムの開発、事業化を推進する。

特徴

2012年4月設立
神戸大学発ベンチャー
世界で初めて多重経路レーダーの実現に成功。

同じ人の乳房をX線マンモグラフィとマイクロ波マンモグラフィで撮影した比較写真



ビジネスマッチングに関するご案内

◆本イベント実施後、後日ビジネスマッチングをご希望されるお客さま向けにビジネスマッチング会を予定しております。本イベント実施後のアンケートへお客さまのご要望をご記載いただき、別途、ご案内させていただきます。(ご記載いただきました内容等によってはご希望に沿えない可能性がございます。予めご了承下さいますようお願い申し上げます)

《本イベント申込み画面イメージ》

ビジネスマッチングの対象先

株式会社三井住友銀行

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

株式会社Luxonus

株式会社イムノセンス

株式会社Integral



本イベント申込み画面において、左記チェックボックスが出て参ります。ビジネスマッチングをご希望される方は、対象先にチェックをお願い致します。

※応募多数の場合ご希望に添えないことがある旨、ご了承下さい。
※個別マッチングをお申込の方には、別途日時をご連絡いたします。